



躍動する「午」に「火」の力が合わさった勢いのある年に！

「今さら感」がいっぱいですが、本年度もよろしくお願ひします。

令和8年の干支は丙午。ひのえうま 60年に一度訪れる躍動する「午」年に加え、さらに「火」の力が重なる年です。火の力が重なることで情熱や勢いが高まり、太陽のようにエネルギーが満ち溢れる年と言われています。そこから、これまで迷っていたことにチャレンジすると追い風が吹き、物事が良い方向に動くとされています。また、人とコミュニケーションを取ることで、運気が上がるとされる年でもあります。

さて、年末から正月にかけて様々な高校生スポーツの全国大会をネット観戦することが自分の中ではすっかり年中行事となっています。どの種目も胸熱になるのですが、自然に頭の中に「♪うつむくなよ～ 振り向くなよ～ 君は美しい 戰いに敗れても～」の歌詞が流れてきます。これでわかる人は私と同じ昭和人ですね。長い間、全国高校サッカー選手権大会のテーマソングだった「振り向くな 君は美しい」の歌詞です。ちなみに今年はT.N.Tさんの「未来へ」でした。Spotifyで聴く歴代大会テーマソングは私のランニングとお風呂の友でした。小学生だった頃国立を沸かした“菲高旋風”に感動し、以来40余年になります(長っ)。感動爆発のゴールシーンもいいのですが、いちばんの見所は、終了の笛と同時に訪れる勝者の歓喜とピッチに倒れ込む敗者の涙です。日々積み上げてきたこれまでの「軌跡」のすべてがこの瞬間に凝縮されている。その姿に深い感動と美しさを感じ、自分も負けないようにと奮い立たせてくれます。サッカーに限ったことではありません。日々の高校生活のあらゆることにもあてはまります。毎朝、起床の戦いから始まり、授業での睡魔との戦い、放課後の部活動での戦い。家庭での学習との戦い。そこにどれだけの熱をもって、日々の積み上げができるのか。その熱の源泉こそが「目標」です。入学からまもなく1年が経とうとしています。今年は、太陽のようにエネルギーが満ち溢れる年。もう一度、自分の目標をしっかりと確認して、火のように熱く日々、積み上げていってほしいと願っています。

1年次主任 渡邊 晃

◎2月行事予定 ~最後の定期試験は2/20からです。3/1は3年次生の卒業式です。~

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	日			16	月	A	きずなの日、第3回生活実態調査
2	月	A	きずなの日	17	火	A	
3	火	A		18	水	A	
4	水	A		19	木	A	
5	木	A		20	金	行事	第4回定期試験
6	金	A	2年次大学入学共通テスト模試	21	土		
7	土		2年次大学入学共通テスト模試	22	日		
8	日			23	月		天皇誕生日
9	月	B	3年次単位追認試験	24	火	行事	第4回定期試験
10	火	B		25	水	行事	第4回定期試験
11	水		建国記念の日	26	木	行事	第4回定期試験大掃除
12	木	B	生徒協議会	27	金	行事	表彰式 卒業式予行 DP修了式同窓会入会式
13	金	B	第4回定期試験時間割発表(試験準備週間・部活動休止)	28	土		
14	土			1	日	行事	第78回卒業証書授与式
15	日			2	月		3月1日の振り替え休日

保護者の皆様へ

「三者懇談へのご出席ありがとうございました。」 お忙しい中また寒い中を御来校くださいありがとうございました。御家庭での様子や普段の学校生活、来年度の履修科目を主な話題にさせていただき、有意義な時間を持つことができました。懇談でいただいた御意見は管理職にも伝えまして、今後の学校運営に生かしていきたいと思います。

「2年0学期」 1年次最後の定期試験を終えると、3月は卒業式や後期高校入試など平常授業の日程が少なくなり、家庭での学習時間が多くなります。この時期は「2年0学期」ともいわれ、苦手科目の克服や1年次の遅れを取り戻し、また2年次の学習分野を先取りしてスタートダッシュに向けた準備期間です。進路実現の第一歩として、年次職員力を合わせてお子さんのバックアップに努めさせていただきます。今後も御協力をお願い申し上げます。

◎先生方からの寄稿 今月は4組の担任 中村 光先生、副担任 平本 圭子先生です。

人とのご縁にありがたさを感じる今日この頃 4組担任 中村 光

高校生の時の将来の夢は高校の先生になることでした。とにかく学校が楽しくて、というより部活動（吹奏楽部で打楽器を担当していました）が大好きで楽しくて、これからも吹奏楽部の打楽器に携わりたいと思ったのが大きかったような気がします。大人になって、その夢を叶えることができました。次の夢は何だろう？と考えた時、パッと出てきたものはやはり部活動のことで、それだけ私の人生において大切なもののだと改めて実感しました。ちなみに、部活動の夢は2つありましたが、1つは最近叶えられたので、いつかもう1つの夢を叶えられたらと思っています。

ここまで夢を語ってきましたが、よく思うのは、どのような人たちと出会い、関わりを持つかで人生は変わるということです。あの時恩師に出会えていなかったら、あの時一緒に頑張ってきた仲間があの子たちではなかったら、私は今どのような人生を歩んでいたのだろう。吹奏楽や打楽器をここまで好きでいられなかっただかもしません。もしかしたら先生にはなっていなかったかもしれませんとも思います。

今はまだ、皆さんにはそういう感覚があまりないかもしれません。しかし、今まで出会ってきた人たちや今から出会う人たち、出会っているけれどまだ関わったことがない人々は皆さんの人生を変えるきっかけになる人かもしれません。
どうか人とのご縁は大切に。



伝承すること

4組副担任 平本 圭子

どんど焼きは、小正月（1月15日頃）に正月飾りなどを燃やし、年神様を見送るとともに無病息災や五穀豊穣を願う日本の伝統行事である。今年はじめて、地域のどんど焼きと道祖神のお祭りの準備をすることになった。境内のお掃除をして、竹にしめ縄を結び、紙垂を飾りつける。わらは竹を軸に円錐の形にくみあげた。ここには昔から受け継がれてきた慣習があり、年長者の方の見守る中で準備を進めていった。

どんど焼きの時間になると、地域の皆さんが、木の枝に刺した色とりどりの繭玉（お団子）を持って集まってくる。道祖神のろうそくに火を灯してお祭りが始まると、火の周りには、みんなの賑やかな話し声と笑い声が響いていた。今日は、近くに住みながらもなかなか会うことのない地域の方々に会える特別な日だ。

いろいろな行事が簡素化する中で、毎年、手間暇かけてこの特別な日を伝承してきたことはとても貴重なことだと思う。地域の一員として、微力ではあるがその役目を果たすことができること、地域の方々とこのような時間をともに過ごすことができたことをうれしく思った。寒い冬の夜に赤く燃え上がる火。人々の輪の中で、懐かしく、暖かい気持ちになった。今年も皆さんにとってよい年になりますようにと願いながら、繭玉をいただいた。

